

渚西中だより

令和7年1月7日(火) 第5号
枚方市立渚西中学校
校長 野口 明郎

校訓『自律・協調・努力』

令和7年度への助走(準備期間)がスタート

令和7年がスタートしました。特に、今年は4月13日から10月13日までの184日、大阪・関西万博が開催され、人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知が集まり、新たなアイデアを世界に発信する場が間近に迫ってきました。世界の人々が大阪に集まり、注目し、私たち自身も「世界」や「未来」が意識できる、そして、これから先に実現していく未来社会の姿が私たちの未来を灯し、導く指針となることを期待し、どんな1年になるのか今からワクワクしています。

さて、冬休みも終わり、本日から3学期がスタートしました。冒頭にも記述した社会が更に変化する可能性が迫ってくる中で、改めて、「学校で学ぶ意味や意義」を生徒の皆さんと考え・共有することで学校でこれからも大切にしていくこと、そして変化するべきことを整理していく、そんな1年にしていきたいと思っています。特に3年生の皆さんにとって、限られた時間となるこの3学期ですが、1・2年生にも学びに向かう先にある大切なこと、「なぜ学ぶのか?」を忘れず、1日1日の時間を大切に、充実した学期としていきましょう。

保護者の皆さまには、今年度も、残り少しとなりましたが、生徒たちにとって、安全・安心の確保や進級・進学に向けた取り組みに対し、引き続き、私ども教職員も全力で臨んでまいりますので、各ご家庭におかれましても、本校教育に対し、ご理解・ご支援いただけますようお願いいたします。

【始業式での校長からの話の概略を紹介させていただきます】

本校のブログでも学校の様子や情報を発信しています

助走(準備期間)の大切さについて

遠くに・高く跳ぶためには、助走がない状態では遠くへも、高くも跳べません。

おそらく、来年度に向けて、それぞれが「こんな先輩になりたい」「こんな進路に進みたい」「こんな大会に出場したい」など様々な「なりたい自分の姿」があると思います。そのことを実現するためには①助走(準備) ②それを支える土台 が必ず必要になります。

4月になってから行動するのではなく、3学期からその準備をはじめ、その姿を支えるために必要な土台をつくっていきましょう。その行動の1つ1つが、1人1人違った花を咲かせる力(栄養)となります。

先日行われた、第101回箱根駅伝でも、考えられないような記録を出した学生がいましたが、そのすべての学生が1年以上前から今回記録したタイムと同等かそれ以上のタイムを意識した練習(準備)を繰り返し、目標タイムを生み出す土台を築き、誰にも咲かすことのできない花を開花させてくれました。ステージは違っても「なりたい自分を実現するため」の考え方や行動の仕方は共通するものがあると思います。なりたい自分を実現するために「今から行動できることはいませんか」「達成するためのスケジュールはイメージできていますか」「実現できた時の自分の姿は想像できていますか」。皆さん1人1人のなりたい姿を応援します。そして、なりたい自分の姿を実現しましょう!

